

巻貝 snail

地形 topography

私たちは地形の密度に着目した。

水面の密度の差によって光の拡散は変化する。石の大きさ、芝の密度の差によって人々の行動は変化する。木の葉の密度の差によって、影の密度は変化する。様々な領域が形成される。

このように、各々の地形には様々な密度が存在し、その密度の差によって様々な領域が形成され、人々の行動は変化する。

手法 strategy

そこで、1枚の紙を三角形に折ると操作によって密度の変化と領域の変化を生む。

三角形に折るという操作を連続させることで捻じれを生み、巻貝のような屋根と壁が連続した空間が形成される。

三角形の大きさ、密度を変化させることで各々の地形にみられるような密度の差と領域の変化を生む空間を提案する。

study

